

		使いたい（使う）言葉	
活動形態 <ul style="list-style-type: none"> 活動形態を多くすることは、単調な授業を避けるための方法の1つである。 	<ul style="list-style-type: none"> 一斉指導 ペア活動 グループ（班別）活動 個別指導 		
活動内容 <ul style="list-style-type: none"> この項目は簡潔に書く。 動作の主体は「生徒」。 < >の部分は、教科書の項目名に合せる方法もある（小単元名や実験名など）。 	< >の部分 <ul style="list-style-type: none"> ～しよう ～を調べよう ～について考えよう ～を予想しよう。 ～だろうか。 教科に応じて記述する。（実験しよう、実習しよう、など） 		
□指導の内容（指導上の留意点） <ul style="list-style-type: none"> 動作の主体は「授業者」。 「する」のか「させる」のかを間違わない。 	<ul style="list-style-type: none"> ～し、活動を見通せるようにする。 ～を学級全体に説明する。 ～のような話し合いになるように助言する。 ～聞くように指導する。 ～の理解度を確認させる。 ～について、予想させる。 ～を理解させる。 ～を板書させる。 ～を伝える。 ～を提示する。 発問「・・・」 発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ～を説明し合せる。 ～するよう、発言を促す。 ～のまとめをさせる。 ～を記入させる。 ～の手順を間違わないように、繰り返し練習させる。 ～を選択させる。 ～と～の違いを強調する。 ～を読み取らせる。 机間巡視の際、～について注意喚起する。 ～と発問する。 ～と言う。 ～を気づかせる。 	
■生徒の活動 <ul style="list-style-type: none"> 動作の主体は「生徒」。 < >の部分を細分化した生徒の活動を書く。 生徒の活動を軸に書いていく。例えば、 <input type="checkbox"/> 「記入させる」 ↓ <input checked="" type="checkbox"/> 「記入する」 とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ～を班員に説明する。 教科書を読む。 ～について予想する。 ～を板書する。 ～を聞き～する。 ～を発表する。 ～を説明し合う。 ～をまとめる。 ～を記入する。 ～を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ～の感想を書く。 ～を読み取る。 ～を選択する。 ～を音読する。 ～を練習する。 	
◆予想される生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> 「うわ～、～だ。」 「～ということなのだろうか」 「～について確認できた」 「どうすれば、～するのだろうか」 	<ul style="list-style-type: none"> 「～すれば、いいんじゃないか」 「～は、～なようだ」 「～は、～だと思う」 	
評価の観点	先述の「国立教育政策研究所」の「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料」より抜粋して記述する。		
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 ワークシート 〇〇カード ペーパーテスト 	<ul style="list-style-type: none"> レポート パフォーマンステスト 発言 など。 	